



燃え広がる前に 正確な消火を ～那須地区危険物保安協会 消火競技会～

いったん火がつくと、瞬く間に燃え広がる炎。被害を最小限にとどめるためには、火災の初期段階での適切な消火活動がとて重要だ。

6月8日、那珂川河畔運動公園にて、初期消火の技術を競い合う消火競技会が開催され、市内の企業や団体など38チームが参加。今回で2回目の参加という相馬さんは「前は消せなかったが、今年は消火できてよかった。学んだことをいざというときに役立てたい」と話してくれました。



夕暮れの青木邸 響くジャズの旋律 ～青木邸JAZZコンサート～

6月3日、西日に染まる旧青木家那須別邸にてジャズコンサートが開催されました。この日の演奏は、地元で活動するジャズバンド Just Friends(ジャストフレンズ)。テナーサックスの柔らかく力強い音色に、軽快でリズムカルなギターが呼応します。

上空を流れる早い雲とは対照的に、暖かい夕日に照らされ穏やかな会場。心地よいジャズの響きだけが、会場の空気を震わせます。周りの木々たちも、豊かな音色に耳を澄ませているようでした。



ご当地グルメにかぶりつき ～うんまいもんフェスティバル～

千本松牧場で5月28日、うんまいもんフェスティバルが行われ、約2万8,000人が県内のご当地グルメに舌鼓を打ちました。名物ギョウザや焼きそば、完熟いちごなど約40店舗が並ぶ中、特に人気を集めていたのは、ナスと豚バラ肉を塩ダレで味付けたフライをパンで挟んだ「なすしおぼらバーガー」(写真)。ステージではアイドルユニットやパフォーマーによるライブも行われ、五感を使って味わうフェスは、家族連れなどでにぎわいをみせていました。



大輪の花を満喫 ～塩原温泉ぼたんまつり～

塩原温泉街の妙雲寺で、毎年恒例のぼたんまつりが5月末日まで開催されました。

妙雲寺境内のぼたん園には3,000株を超えるぼたんがあり、地元の「牡丹を育てる会」のメンバーが丹精込めて手入れをしています。

今年は例年より咲き始めが遅かったものの、開催期間の後半には、赤・白・黄・ピンクとさまざまな色のぼたんが咲き乱れ、会場を訪れた人たちを楽しませていました。



元気に長生きしてね ～クワガタ放虫会～

子どもたちに自然環境を守っていくことの大切さを伝えるため、クリーンセンターが毎年行っているクワガタ放虫会。8回目となる今年は、関谷小学校の5年生が、88匹のクワガタムシをクリーンセンター敷地内の森に放しました。

子どもたちは、事前にセンターから預かって学校で世話をしてきたクワガタムシに「元気でね」と声をかけ、勢いよく木を登っていく姿を名残惜しそうに見つめていました。



キャンドルが優しく灯る夜 ～黒磯駅前キャンドルナイト～

「募金おねがいします」。小学生の聲が高らかに響きわたる会場。6月17日に開催された黒磯駅前キャンドルナイトは今回で20回目を迎え、多くの子どもたちが会場をにぎわせました。

高校生が作成したキャンドルオブジェの展示や茶道部による野点、小学校の児童によるステージなど、多くの子どもたちが参加。夕方キャンドルに火が灯されると、優しい灯りに照らされた子どもたちの笑顔が会場を埋め尽くしました。



自然の力だけで幻の米を育てる ～ササシグレ 田植え体験会～

晴天に恵まれた6月3日、じょじょにファーム(青木)で、幻の米「ササシグレ」を自然栽培する田植え体験会が催され、市内外から30人が参加しました。

優れた食味に引きかえ、病気にめっぽう弱いため、50年前に市場から姿を消したササシグレ。今回は、農薬や肥料を一切使わない「自然栽培」にチャレンジです。この日参加した下条さんは、「田んぼの中がフカフカで、まるで羽毛のようだった。収穫が今から楽しみ」と話してくれました。



初夏の温泉街に響く音色 ～ジャズフェスタしおばら2017～

5月28日、塩原もの語り館でジャズフェスタしおばらが開かれ、計6組が観光客などに演奏を披露しました。これは、音楽好きな地元の有志で結成する「大地の鼓動BeaT」が2007年から毎年行っているイベント。今回は、2月に亡くなった作曲家・船村徹さんの最後の内弟子で歌手・村木弾さんが、船村さんと塩原に宿泊した縁で出演。鳥羽一郎さんの「祭り唄」など船村楽曲の披露中には、懐かしそうに歌詞を口ずさむ観客の姿が見られました。